

<b>授業科目名</b>	成人看護学実習（急性期・周手術期）(2300403)		
<b>時間割名</b>	成人看護学実習（急性期・周手術期）(70223)		
<b>時間割担当</b>	松浦純平		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	3 必修
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

学内で学んだ知識・技術および基礎看護学実習で習得した看護援助を基に、疾病の急性期にある患者あるいは障害の回復期にある患者・リハビリ期にある患者を受け持ち、看護過程を展開することによって、患者の看護上の問題を把握し、問題解決のために個別性を重要視した看護を計画的に実践・評価することができる能力を養う。また、疾病状況の変化に伴う患者の心理状態を理解することができ、適切な精神的援助を行うことができるようになることを目指す。

### 学習の到達目標

1. 急性期・周手術期にある患者・家族の特徴を理解し、看護の必要性を判断する。
2. 侵襲による生体反応や合併症を予測し、回復過程における看護援助を行う。
3. 身体機能の変化や喪失による心理状態を理解し、患者・家族が受容、適応するための援助を行う。
4. 急性期・周手術期患者への看護とその役割を理解する。
5. 実習における学習過程を通して、自己の倫理観・看護観を身につける。

### 授業方法・形式

臨地実習

### 授業計画

1. 3週間の臨地実習  
\* 詳細は成人看護学実習要項で示す。

### 成績評価の基準

1. 5分の4以上出席があり、実習記録物が期限内に提出した者について評価を行う。
2. 実習要項の評価表に基づいて評価する。

### 授業時間外の課題

1. 実習前・中の学習課題に沿って行う。

### メッセージ

1. 実習に際しては、実習要項・ガイダンスに出席すること。
2. 十分な事前学習を行った上で実習に臨むこと。

### 教材・教科書

特に定めない。

### 参考書

適宜、紹介する。